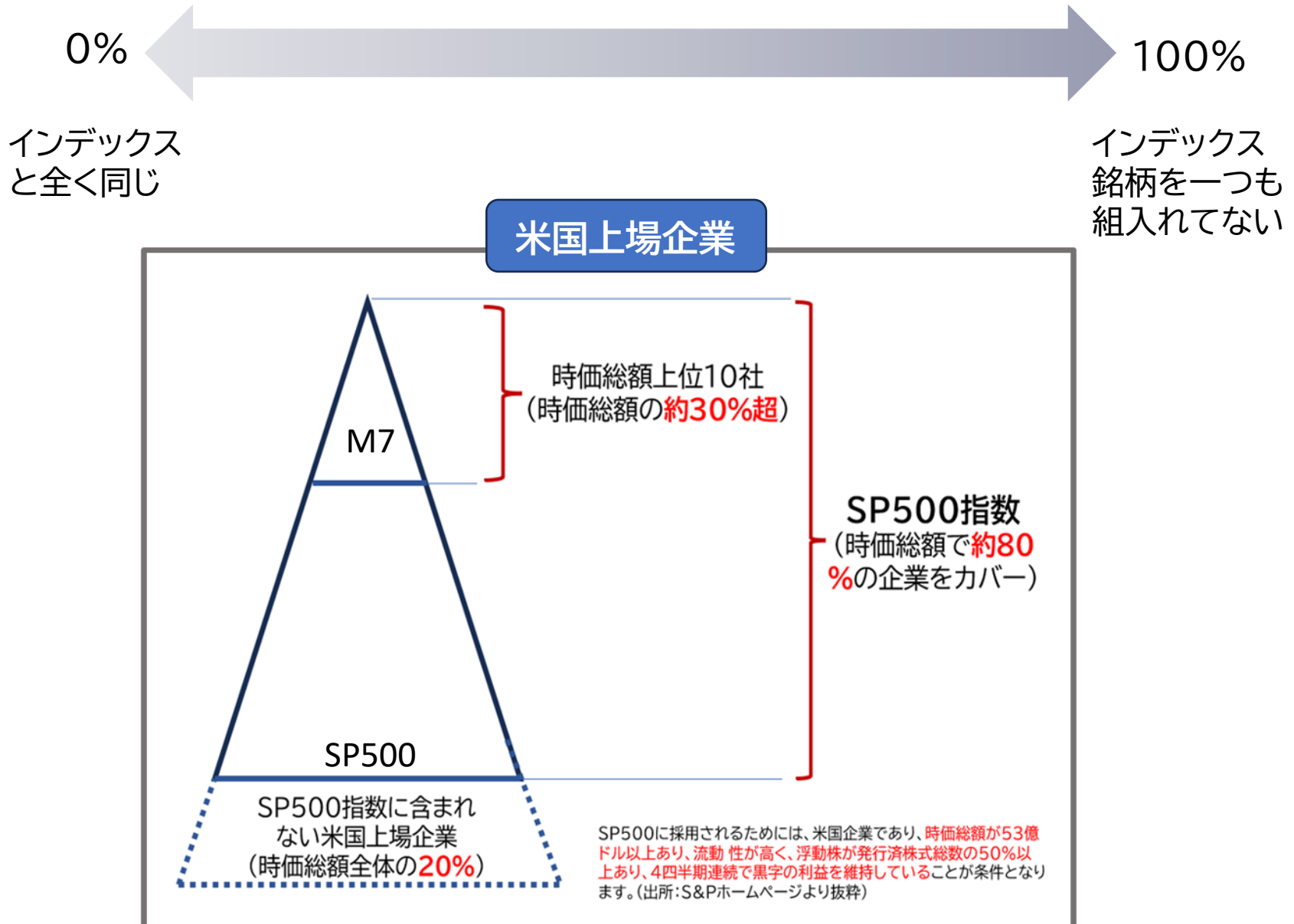


アクティブ・レシオ(アクティブ・シェア)について

2010年以降、活用されるようになった



アクティブ・レシオ(アクティブ・シェア)について

資産運用会社内では従前から使われていた

トラッキング・エラー：インデックスからどれだけ乖離するファンドか？



TR=0~1% → インデックス・ファンド

TR=2~5% → クローゼット・インデックス・ファンド

TR=5~8% → バリュー系ファンド

TR=8-12% → グロース系ファンド

TR > 15% → 小型株ファンド、テーマ型ファンド

★ 運用会社のリスク管理ツールとして利用されている

■組入上位10業種

業種	比率	ベンチマーク 構成比
1 電気機器	25.6%	25.8%
2 情報・通信業	14.0%	14.1%
3 小売業	11.6%	11.7%
4 化学	5.7%	5.7%
5 医薬品	5.2%	5.3%
6 機械	4.7%	4.7%
7 サービス業	4.5%	4.5%
8 輸送用機器	3.9%	3.9%
9 卸売業	3.5%	3.6%
10 精密機器	3.2%	3.2%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 225銘柄

銘柄	業種	比率	ベンチマーク 構成比
1 ファーストリテイリング	小売業	8.8%	8.8%
2 ソフトバンクグループ	情報・通信業	7.6%	7.7%
3 アドバンテスト	電気機器	7.3%	7.4%
4 東京エレクトロン	電気機器	4.9%	4.9%
5 KDDI	情報・通信業	2.4%	2.4%
6 TDK	電気機器	2.3%	2.3%
7 リクルートホールディングス	サービス業	2.0%	2.0%
8 信越化学工業	化学	1.8%	1.8%
9 コナミグループ	情報・通信業	1.8%	1.8%
10 テルモ	精密機器	1.7%	1.7%



インデックス・トラッカーは、インデックス構成比をベースに
強気業種・企業は多めに(オーバーウェイト)、弱気業種・企業
を少なめに(アンダーウェイト)する運用方法

★「リスク調整済みリターン」について

次の2つのファンドを比較したい(リターンの比較だけでいいの?)

■ Aファンド

リターン:20%

リスク:20%

■ Bファンド

リターン:20%

リスク:10%

$$\text{◎リスク調整済みリターン} = \frac{\text{リターン}}{\text{リスク}} = \text{リスク1単位当たりのリターン}$$

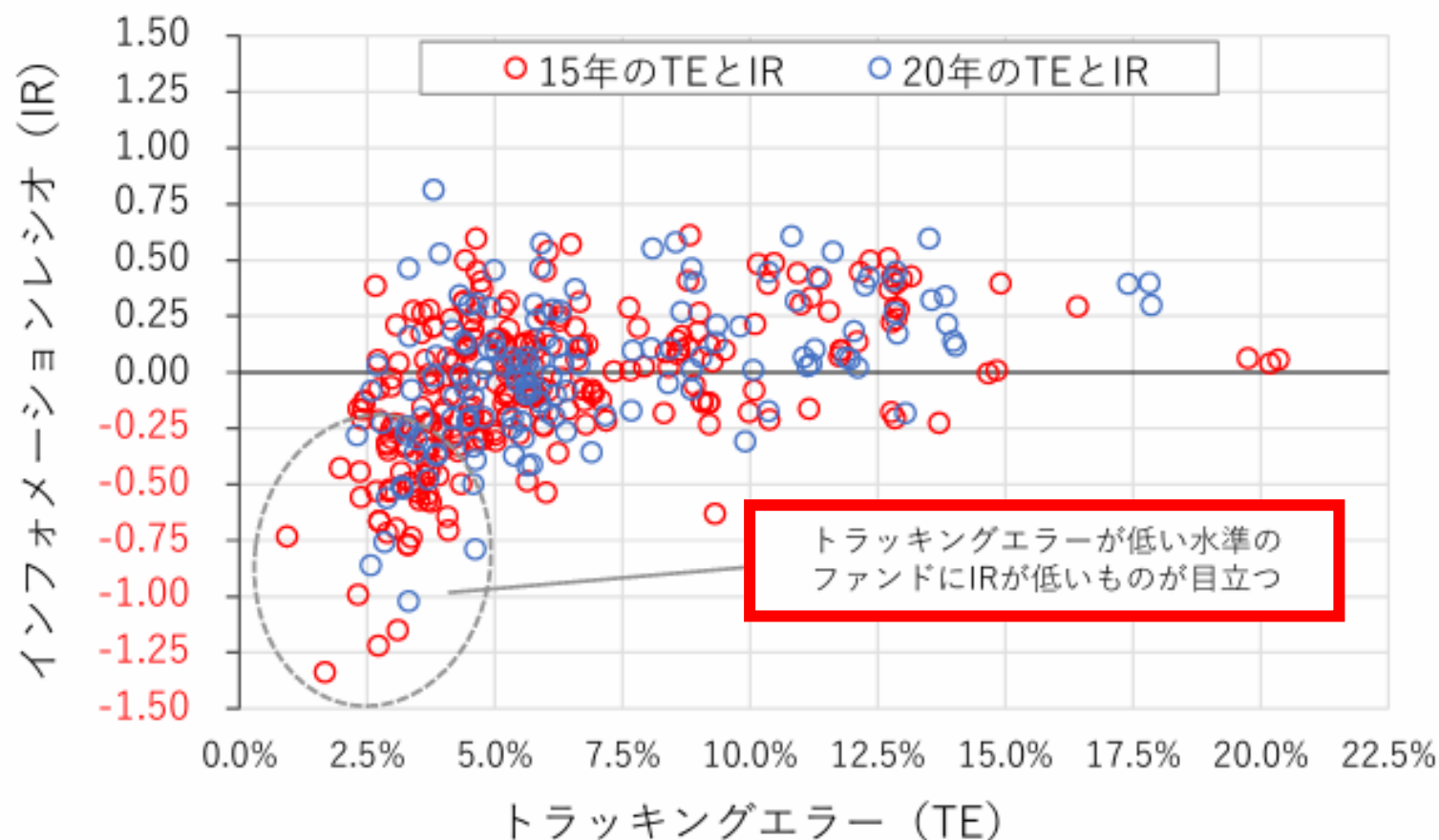
$$\text{◎シャープレシオ} = \frac{\text{リターン} - \text{無リスク金利}}{\text{リスク(標準偏差)}}$$

$$\text{◎インフォメーションレシオ(IR)} = \frac{\text{リターン} - \text{ベンチマークリターン}}{\text{リスク(トラッキングエラー)}}$$

資産運用業高度化プロGRESSレポート2021

(金融庁)

B. トラッキングエラーとインフォメーションレシオの分布

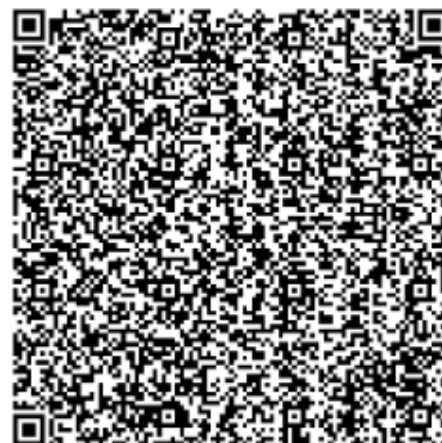


(注) 2021年3月末時点において、15年の実績があるアクティブ投信(253本)、20年の実績があるアクティブ投信(143本)を対象に、配当込みTOPIX指数をベンチマークとしてインフォメーションレシオ(IR)およびトラッキングエラー(TE)を算出(いずれも年率換算)。

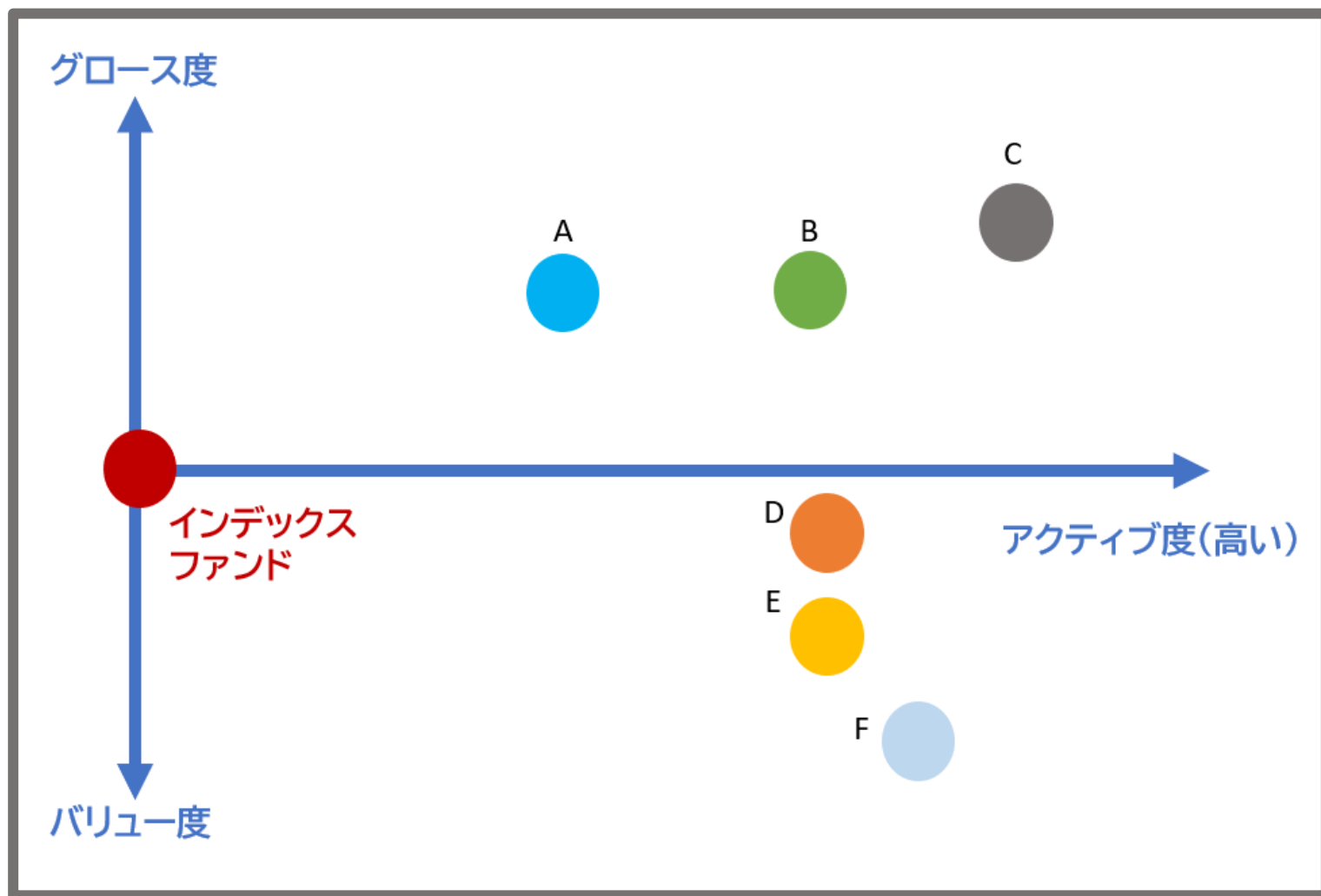
(出所) 三菱アセット・プレインズから提供されたデータをもとにアイデア・ファンド・コンサルティングが作成。

資産運用業高度化プロセスレポート2021

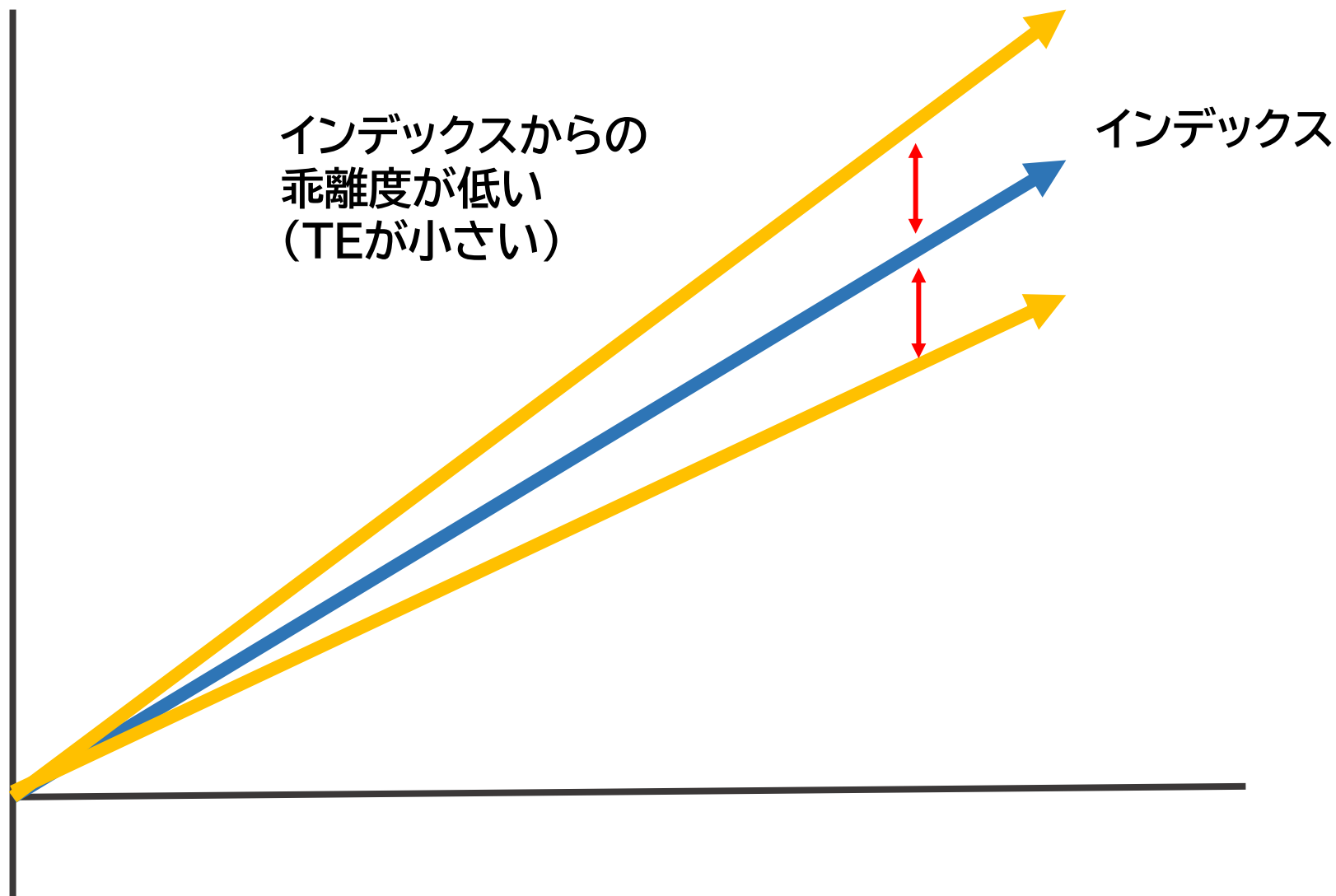
2021年6月
金融庁



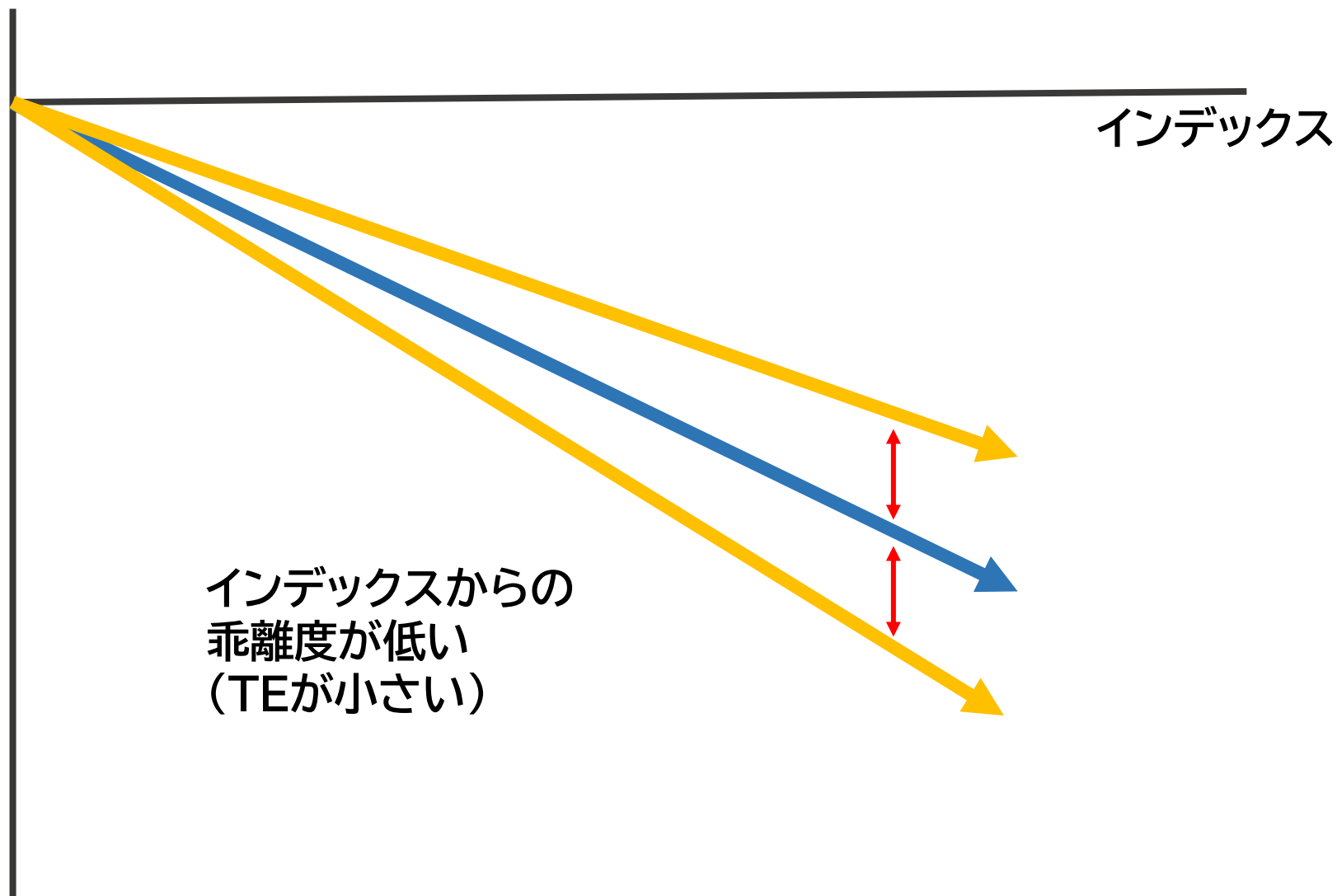
「アクティブの度合いが高い・低い」という意味(イメージ)



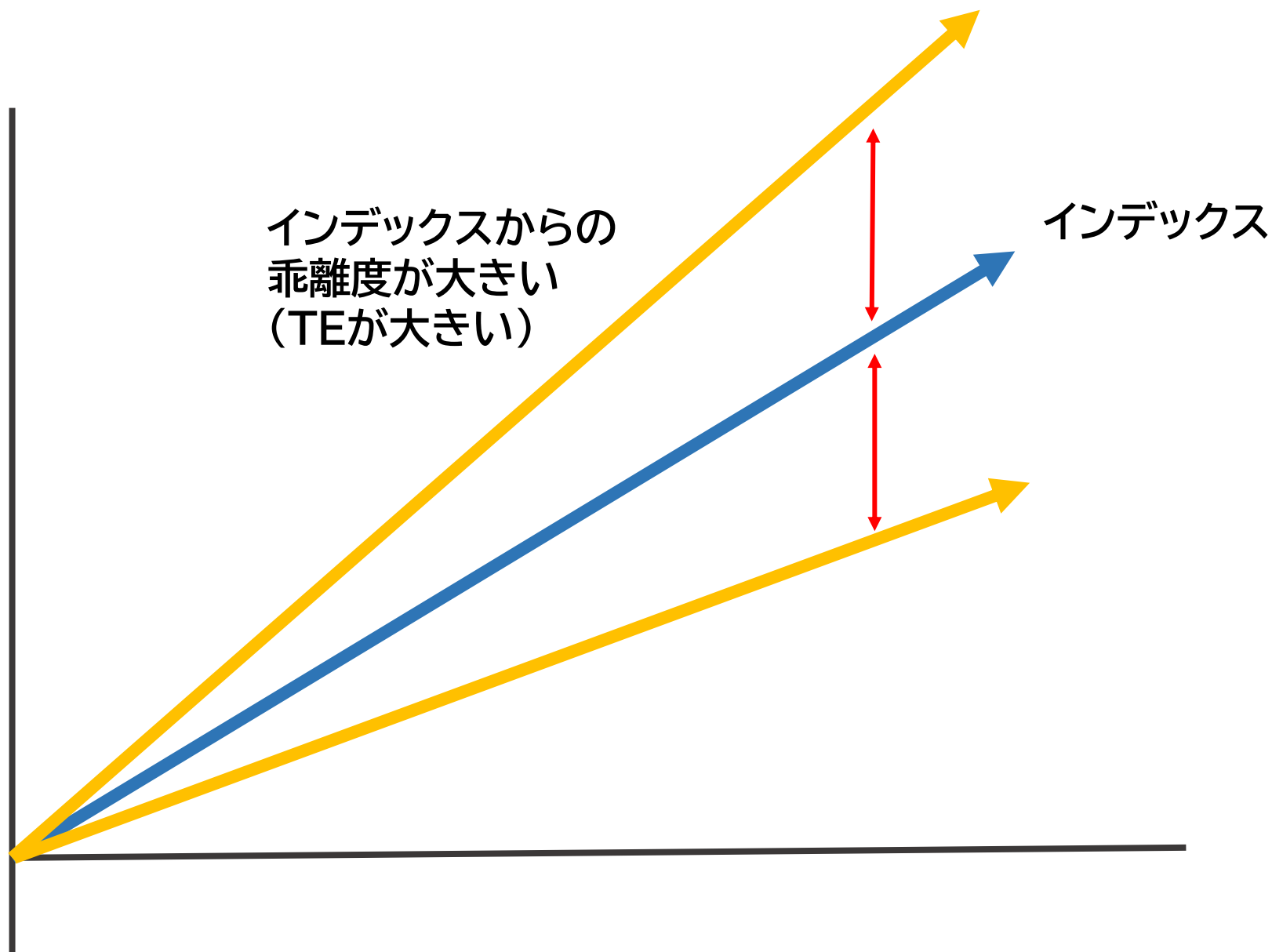
「アクティブの度合いが低い」ファンドの値動き (市場全体が上昇したケース)



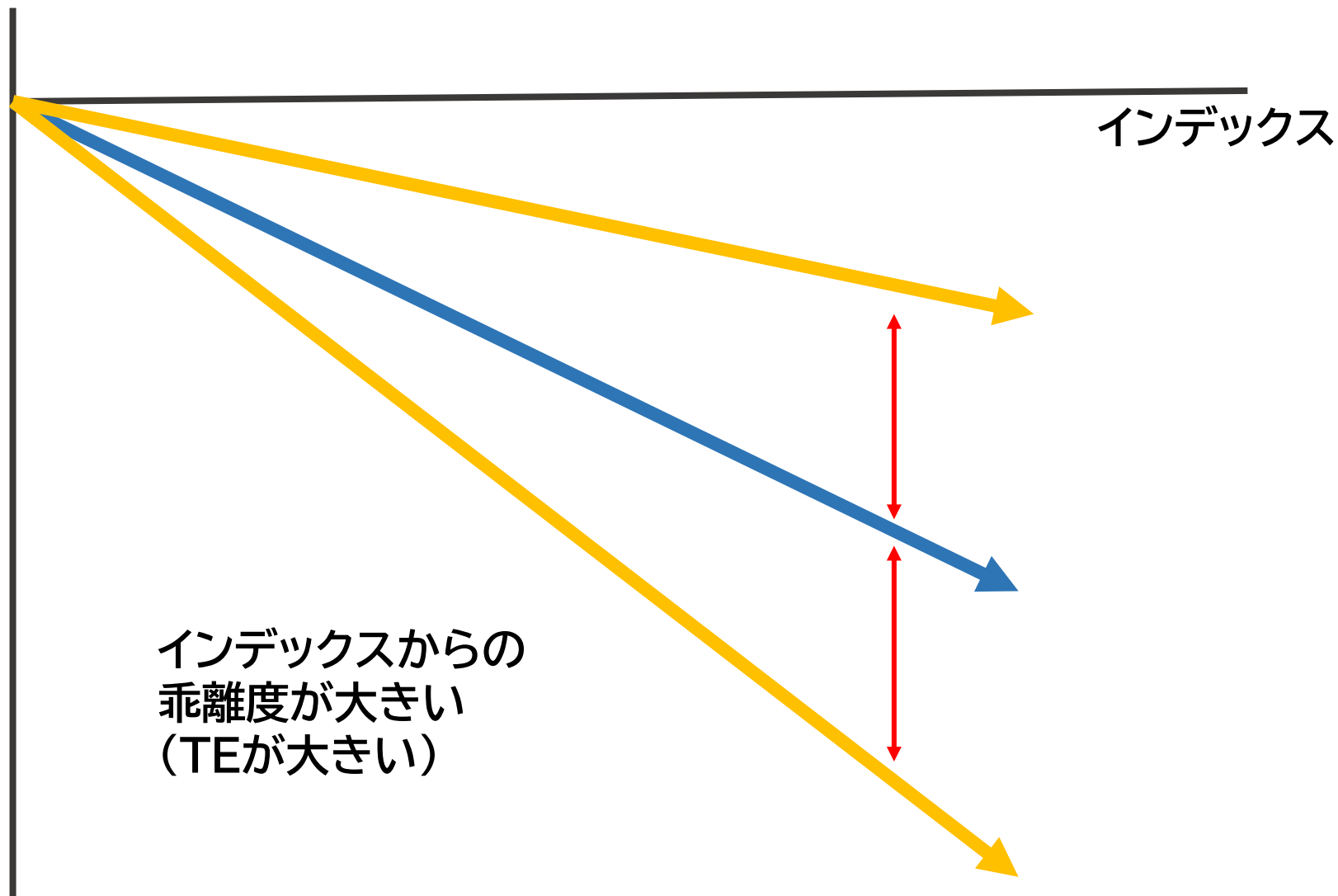
「アクティブの度合いが低い」ファンドの値動き (市場全体が下落したケース)



「アクティブの度合いが高い」ファンドの値動き



「アクティブの度合いが大きい」ファンドの値動き (市場全体が下落したケース)



最後に

- インデックスをベースに
ファンドを構築する考え方

→出来上がった仏像に手を加えて
自分好みに変えていく

- アンコストレインド:インデックスに
囚われない運用

→原木から仏像を彫り上げる

